



ジャズとブルースのライブが人気のおとなのバー

役所前のビル地下にある「add 9th」は、ジャズとブルースとライブ演奏が売り物のバー。開店以来、毎週金曜と土曜日にライブ演奏を開いている。約30㎡の客室に小さなステージとピアノがあり、棚にはジャズ、ブルース、ソウルなどのCDとレコード約1,200枚が天井までびっしり並び、ファンにはたまらない雰囲気。オーナーの古角謙さん(写真上)は「いくつにな

っても遊び心を忘れない、おとなの不良が集う店」がモットーで、常連にも初めての客にもへだてのないサービスを心がけており、ボトルキープをしないのも特徴。カウンター奥の棚には、バーボン、ウイスキー、ジン、ラム、ウォッカ、テキーラなど世界の酒が並び、カクテル(750円から)の種類も多く、好みのものを作ってくれるので、それを楽しみに訪れる若い女性も多い。ピザやジャンバラヤ、サラダなど軽食もある。週末のライブ演奏は、午後8時からでチャージ料は1,500円から(ドリンク別)。夫婦や友人連れなどが、小さなライブハウスな

らではの演奏者と客が一体となった熱気を味わう。出演者は、狛江バンドフェスティバルの仕掛け人のひとりでギタリストでもある古角さんが、プロに出演を依頼するほか、菊池りか



add 9th

DATA▶ アド・ナインス
☎3480-4996 中和泉
1-2-6プラザエクセル地下1階 営業=午後7時(ライブ時は7時30分)~午前1時
日曜休み ホームページ
<http://www2.u-netsurf.ne.jp/~add9th/>

さん率いる「Lica Band」(写真左下)など狛江を拠点にするバンドも月1回演奏、これまでのべ数百グループが出演した。若いときから演劇や音楽活動を続けてきた古角さんは「狛江でライブ・バーは定着しないと反対する声もあったけど、みんなに支えられてようやく10年を迎えられます」と喜び「人生は良いときも悪いときもあり、どんな人もブルースを感じることもある。たまにはおとなの止まり木に来てください」と話している。



この欄で紹介したい特徴ある品物やお店がありましたら産業生活課へお知らせください

あの店...この一品

祭りの秋が開幕



伊豆美神社

中和泉3-21-8
例大祭=9月17日(日)午前9時から。式典、国指定重要民俗文化財・山本頼信社中による「江戸の里神楽」奉納。11時30分宮出し、みこし2基、大太鼓、はやし連山車の巡行。午後7時宮入り。6時に芸能奉納(パントマイム・バルーンショー、マジックショー、ウエスタンショーなど)、夜店。
宵宮=16日(土)午後5時から ☎3489-8105伊豆美神社



系久権現三島神社

西野川1-17-8
例大祭=9月23日(土)10時ごろから。みこし、太鼓のほか、小足立地区の応援によるはやし連巡行。夜店。
☎3489-7287高木

岩戸八幡神社

岩戸南2-8-2
例大祭=10月8日(日)午前

白幡菅原神社

猪方2-4-4
例大祭=10月8日(日)午前11時から式典。午後1時からみこし、太鼓、はやし連、山車の巡行。午後6時からカラオケ大会など。夜店。
宵宮=7日(土)午後6時30分から素人演芸会(カラオケ、舞踊ほか)。
☎3480-2470須田

日枝神社

駒井町1-6-11
例大祭=10月8日(日)正午から。式典、おとな・子どものみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行。芸能奉納(午後7時からマジック歌謡ショーなど)。夜店
宵宮=7日(土)夕方からおはやし奉納。
☎3480-8119山口

小足立八幡神社

西野川2-33-1
例大祭=10月15日(日)午前10時から。式典、国指定重要民俗文化財山本頼信社中による神前舞奉納、みこし、太鼓、はやし連、山車の巡行。夕方に芸能奉納(内容未定)。夜店。
宵宮=14日(土)正午ごろから太鼓、午後6時からカラオケ大会。
☎3489-5968富永

ガーデンシクラメン

冬の鉢花の代表シクラメンのミニ版。花も葉も一般的なシクラメンの3分1から4分1ほどの大きさで、寒さに強いのが特徴だ。9月末から10月に植えると寒さが始まる前に根がしっかり生長して霜に強くなり、花壇の花が少なくなる冬場に色とりどりの花を楽しめる。ガーデニングブームの影響で約10年前にミニシクラメンよりひと回り大きいものを「ガーデンシクラメン」と名付け、出回るようになったという。



市内では2軒の花弁農家栽培。親子で経営する中和泉の小町新一さん・友一さん方では数年前から栽培、ことしは約2500鉢を作っている。西野川の富永和さん方では、父の和身さんの代から作っており、ことしは約4000鉢を生産

している。生産者によると、「F1」と呼ばれる第一世代の雑種のため丈夫で生長も早く、種をまいてから開花まで数カ月と普通のシクラメンに比べて半年ほど短く、手間もあまりかからないという。花の色は赤、ピンク、紫、

白を中心に各色の濃淡のほか、ピクテリアなど斑入りもあり10~20種を数える。9月半ば過ぎから直売とメインショップ狛江支店で販売する。選ぶときは、葉の数が多くしっかり固まっているものがよい。水やりは土の表面が乾いてからで、晴れた日の午前中が最適。花がしおれたら茎ごと抜く。庭に直接植える場合は、日があたる場所で、木の下にする

寒さに強く冬の庭に彩り添える

イヌクワイモ (キク科)



甘みのある塊茎が食用に

多年生草本で2種類あり、イヌクワイモは舌状花(花弁)が10枚以下で、花弁の先がとがっている。直径7~8cmにもなる大輪の花が空に向かって風にそよぐ様は男性的な感じがする。葉は紡錘形で、全体に荒い毛が生え、ざらつくので手でさわると痛いほどである。河川敷や荒地、空き地に大群落をつくっており、狛江では、多摩川の五本松から下流の土手の下の河川敷に群生し、野川の一部でも見られる。茎を引き抜くと、シヨウガのような形をした、中ぐらいのジャガイモから根シヨウガ程度の大きさの塊茎

がついている。塊茎には、果糖の一種のイヌリンを含んでいるため甘みがある。キク科だが、イモがつくことから、「クワイモ」と命名された。北米産で、明治初期に食用として輸入された帰化植物で、塊茎を食べたり、アルコール(酒)の原料にした。戦時中も食用やアルコール製造用として重宝がられた。北海道の渡島半島あたりでは、豚のイサにしていたことを、筆者も覚えている。狛江のある自然保護団体では、秋に収穫して生食や焼いて食べる体験会を催しており、思わず戦時中の記憶がよみがえった。(狛江植物同好会・倉持通夫)

しぜんの歳時記